

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 特発性肺線維症患者における、Interstitial Lung Abnormalities についての検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 木村智樹

[研究の背景] 特発性肺線維症は進行性の疾患であります。症状出現前に診断することは多くの場合難しく、診断の遅れに繋がります。一方で、肺の軽微な異常陰影を含め、偶発的に肺陰影が見つかることもあり、最近では Interstitial Lung Abnormalities (ILA ; 間質性異常陰影) と呼ばれ、重要性が着目されている。ILA は死亡率や肺機能の悪化に関連すると言われ、一部は進行して特発性肺線維症を含む間質性肺炎と診断されますが、早期の特発性肺線維症を含め、進行性の ILA を検出するのは容易ではありません。特発性肺線維症に限っても、早期の特発性肺線維症に関する知見や ILA との関連は未知の部分も多く、本研究ではそれらの点に着目し、特発性肺線維症における早期発見や ILA の意義について検討します。

[研究の目的] 特発性肺線維症の患者さんにおいて、偶発発見された症例とその他の症例、及び最近着目される ILA の基準を満たす症例について、その臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年1月2015年7月までに当院に間質性肺炎で初診となり、その後の精査で特発性肺線維症と診断された患者さん

●研究期間：実施許可から 2024年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、呼吸機能検査）、病歴、使用薬剤、臨床経過

●利用する検体、カルテ情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直

ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 板東知宏

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139